

地理初歩

K110.25  
86

K110.25

86

師範學校編纂  
支部省刊行

# 地理初步

明治七年  
八月改正

三重縣下俣雲舎翻刻

地理初步

第一

人民住居スル所ノ地球ハ一ノ行星ニシテ其形  
圓キト、殆橙ノ如ク、

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ  
其周圍ハ凡一萬零百三十五里ナリ、南北凡三千  
二百二十三里ニシテ、其周圍ハ一萬零百三十里  
ナリ、

此地球表面ノ事ヲ知り得ル學ヲゼオガラヒ  
ト云ス、

ゼオガラヒトトハ、即地理學ト云フ義ニシテ、地球表面ノ事ヲ説キ明スナリ、  
 地理學ニ三種アリ○ナニラレハ、ボリチカルマ  
 テマチカルト云フ○ナニラレハ、ゼオガラヒト  
 ハ、地形、山川、海島ナドノ、自然ニ由ルモノヲ説キ  
 明ス學ナリ○ボリチカルゼオガラヒトハ、都府、  
 郡縣、城市、ナドノ、政治ヨリ、出ルモノヲ説キ明ス  
 學ナリ○マテマチカルゼオカラヒトハ、地球ノ  
 運動、方角、里數ナドノ、數學ニ關スルモノヲ説キ  
 明ス、學ナリ、

第二

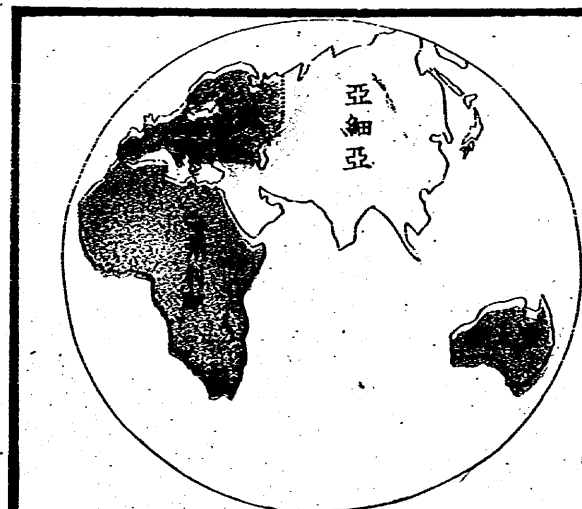
人民ノ住居スル所ハ、地球ノ外面ナリ、  
 地球ノ外面ハ、陸ト、水トニヨリ成レルナリ、然  
 レトモ、水ト、陸トハ、其大サ、同シカラステ、水ハ、  
 陸ニ比ブレハ、殆三倍ノ大サアリ  
 地球ノ外面ニアル、陸ト、水トヲ示ス、圖ヲ、地圖ト  
 云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ、或ハ半面  
 ヲ示スモノアリ  
 地圖ヲ東西ニ分チテ、東ノ半面ヲ示シタルヲ、東  
 半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ示シタルヲ、西半球

地理初級

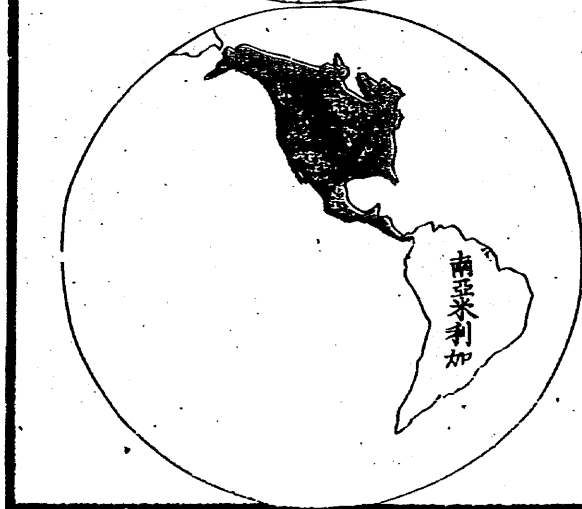
三

ノ圖ト云フ

東半球圖



西半球圖



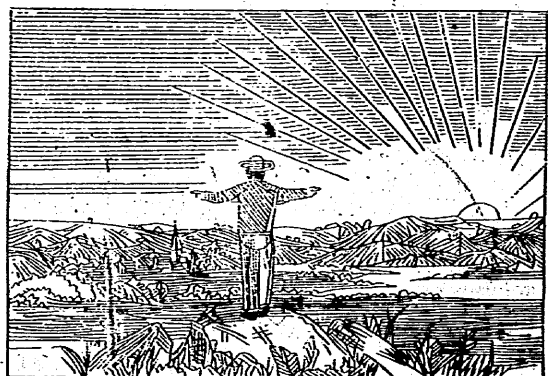
第三

地球ニ四個ノ方位アリコレヲ東西南北ト云フ

今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ

ン

此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方  
ヲ指シ、左ノ手ハ夕日ノ方ヲ  
指セリ、是小兒ノ右ヲ東トシ  
小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
ヘシ、然ラバ小兒ノ背ハ南ニ  
シテ、面ハ北ニ向ヘリ



地理初級

三

大正

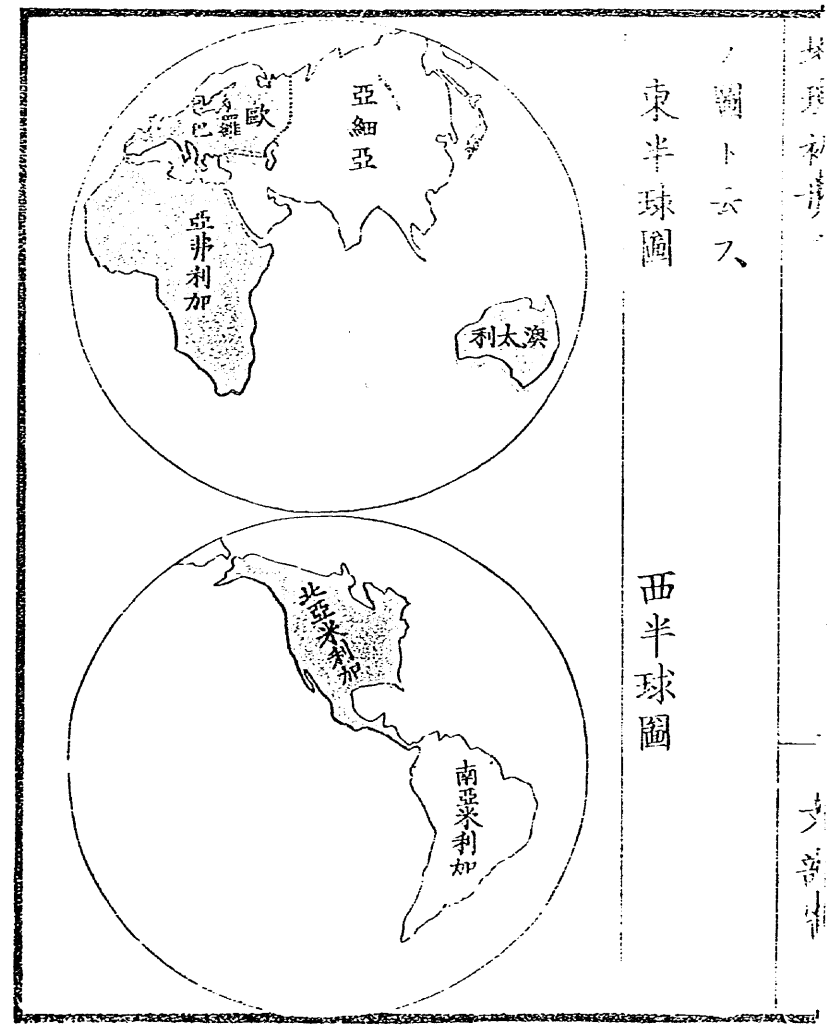
地球の方位

三

ノ圖ト云ス

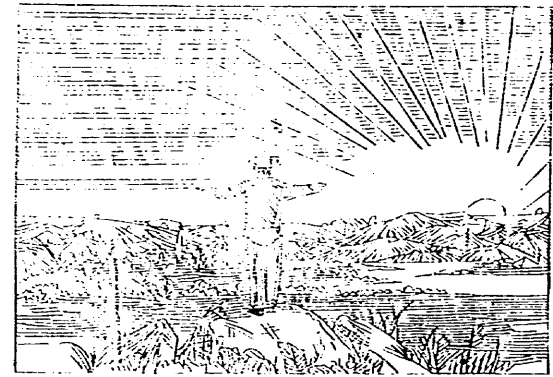
東半球圖

西半球圖



第三

地球ニ、四個ノ方位アリコレヲ東西南北ト云ス



今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ  
 ン  
 此小兒ノ、右ノ手ハ、朝日ノ方  
 ラ指シ、左ノ手ハ、夕日ノ方ヲ  
 指セリ、是小兒ノ右ヲ東トシ  
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
 ヘシ、然ラバ、小兒ノ背ハ、南ニ  
 レテ、面ハ北ニ向ヘリ、

地球の方位

三

地球の方位

此方位ヲ地球ノ四方ト云ス

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北西北東南西南是ナリ

地球ノ中彩色ヲ施セル部分ヲ陸トス其白キ者ハ水ナリ

爰ニ畫ケルハ地球上ハ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云フ三大陸ハ東大陸西大陸及澳大利ニシテ東大陸又分チテ三大洲トスコレニ西大陸及澳大利ヲ合セテ

五大洲ト稱ス

五大洲ノ中四大洲ハ東半球ニアリ亞細亞 歐羅巴 澳大利 亞弗利加ノ四洲即是ナリ  
西半球ニ在ル大陸ハ北亞米利加 南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中尤大ナルモノハ亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ澳大利ナリ

此東西二球ヲ合セテ全地球トス

第五

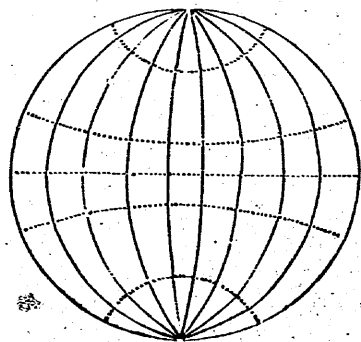
地圖ノ頂上ニ偏リタルヲ北部ノ國ト云ヒ右傍

ニ在ルヲ、東部ノ國ト云フ、下方ハ南部ノ國ニシ  
テ、左傍ハ稱レテ、西部ノ國ト云ヘリ、  
地球ノ表面ニ、縱横ノ線アリ、其南北ニ、引キタル  
線ヲ、經線ト云ヒ、東西ニ、引キタル線ヲ、緯線ト云  
フ、緯線中央ニ在ル者ヲ、赤道トス、  
緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ、等シク其  
間ヲ畫スルヲ以テ、南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸  
小トナルナリ、○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ、引キ出  
ダシタル圓ナルヲ以テ、其長サハ、同シト雖、兩線  
ノ間、各差違アリ、

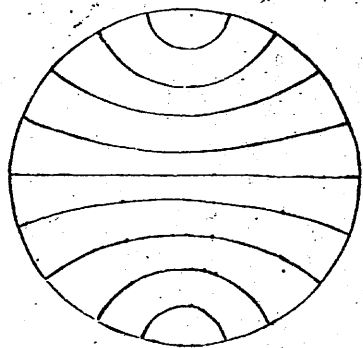
此經緯ノ線ハ、各三百六十アリテ、線トノ間  
ヲ、一度ト云フ、  
此緯線ノ度ヲ、數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ、南北  
ニ至ルナリ、假如ハ、赤道ヲ、零度ト定メテ、ソレ  
ヨリ北ヘ、二線ヲ隔ツレバ、北緯二度ト云ヒ、南ヘ  
三線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經  
線ニハ、其本ト定ムベキ所ナシ、我國ニテハ、東京  
ヲ本トシ、コレヨリ、西經幾度、東經幾度ト數フル  
ナリ、  
赤道ヨリ南北共ニ、二十三度半ニシテ、各一線アリ

リ、北ニアルヲ夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ冬至線ト云フ、此二線ノ間ハ、氣候極メテ熱シ、故ニ稱シテ熱帶ノ地ト云フ○南北ノ極ヨリ二十三度半ニシテ各一線アリ、北ニアルヲ北極線ト云ヒ、南ニアルヲ南極線ト云フ、此二線ト南北極ノ間ハ、氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス○極線ト二至線トノ間ハ、其氣候寒暖中ヲ得ルニ因リ、稱シテ中帶ノ地ト云フナリ

經線圖



緯線圖



第六

地球上ニ、五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南冰洋、北冰洋ナリ。

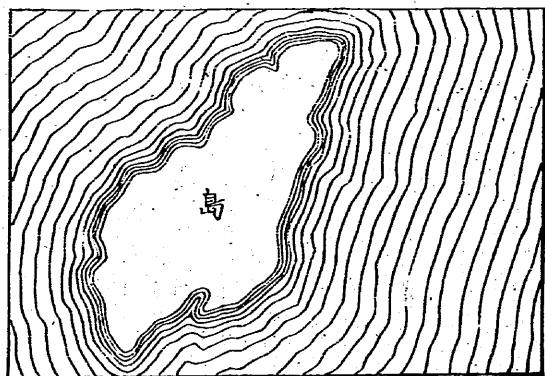


北冰洋ハ、西半球ト、東半球トハ、北部ニ在ルヲ云  
 フ○太平洋ハ、東半球ノ東部ト、西半球ノ西部ト  
 ニ在ルヲ云フ○印度洋ハ、東半球ノ中央ニアリ  
 ○南冰洋ハ、西半球ト、東半球トノ、南方ニアリ○  
 大西洋ハ、西半球ノ東部ト、東半球ノ西部トニア  
 ルヲ云フナリ○此五大洋、其在ル所ノ地方ヲ以  
 テ言ヘバ、北冰洋ハ、北亞米利加ノ北ト、歐羅巴及  
 亞細亞トノ北ニアリ、太平洋ハ、亞細亞ノ東ト、南  
 北亞米利加トノ西ニアリ、印度洋ハ、亞弗利加ノ  
 東ニアリ、大西洋ハ、歐羅巴ト、亞弗利加トノ西ニ

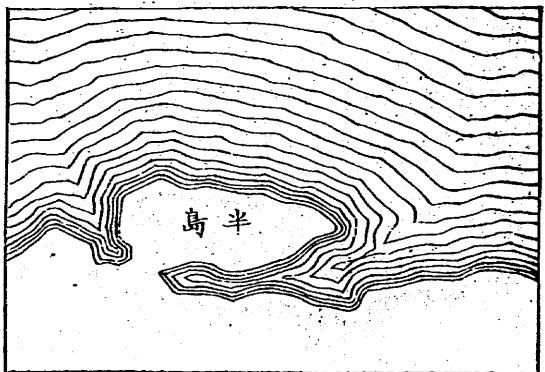
アリ

第七

島 圖



半島 圖



地理考

七

大正

水四周ヲ圍ヒタル地ヲ島ト云フ、其形ハ、三大陸ニ同シト雖、小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ、

大陸ニ續キタルヲ半島ト云フ、

半島ト大陸ト、續キタル、

其間ノ細クシテ、且

長キ地ヲ地頭ト云フ、

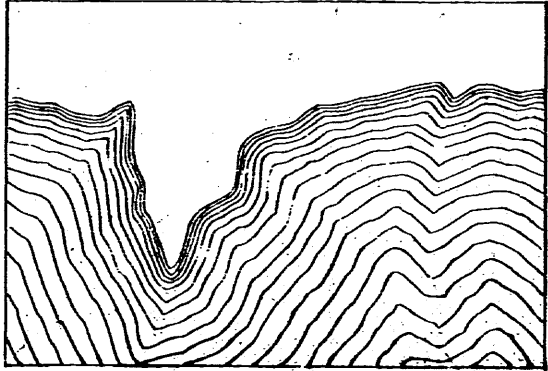
大地ノ一角、尖ラシテ、遠ク海中ニ突キ出デタ

地頭圖

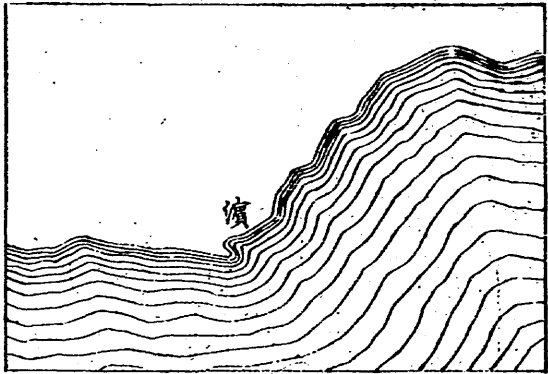


ル所ヲ崎ト云フ、

崎圖



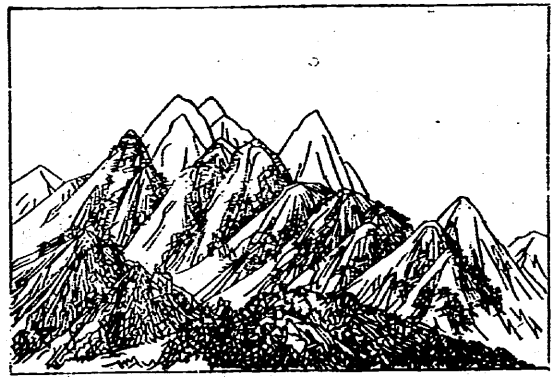
濱圖



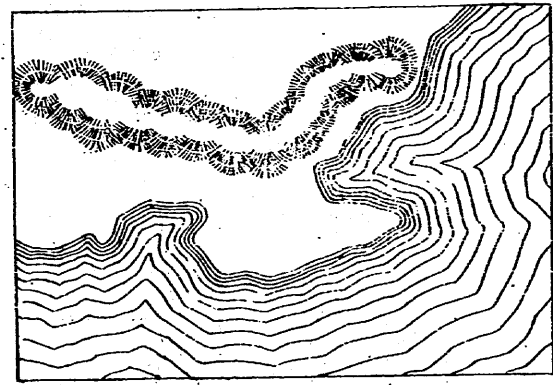
陸地ノ長ク海ニ沿ヒタル所ヲ濱ト云フ、

陸地上ニ、土石、高ク起レルモノヲ山ト云フ、  
山人較小ニシテ、低キ者ヲ岡ト云フ、

山 圖



嶺 圖



兩山ノ間ヲ谷ト云フ、  
山々相接レテ、長ク亘レルヲ嶺ト云フ、  
山巔或ハ山背ニ、穴アリテ、常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ火山ト云フ、  
火山ハ、時アリテ、燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ、  
地ノ廣平ナル者ヲ原ト云フ

火山 圖

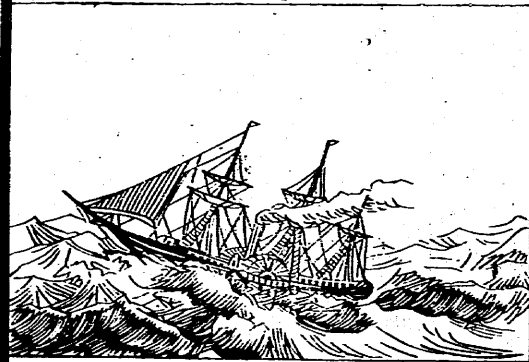


至ル所皆沙ニシテ水草ナキヲ沙漠ト云ス

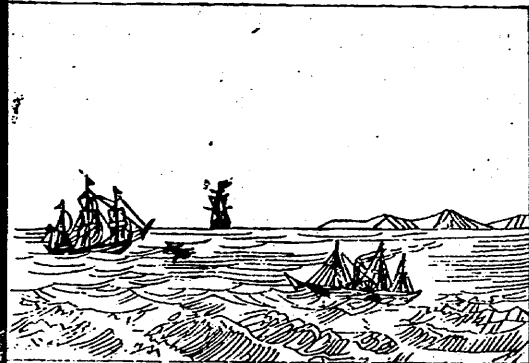
第八

大洋トハ海ノ廣大ナルモノヲ云ス

大洋圖

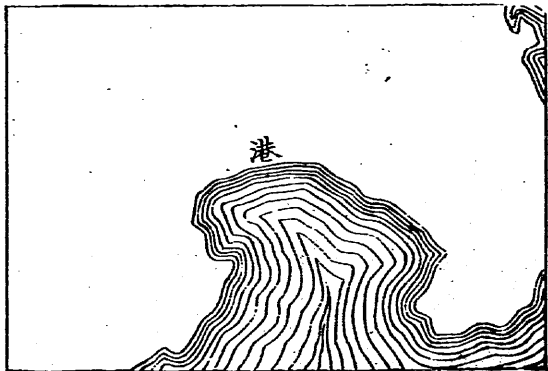


海圖

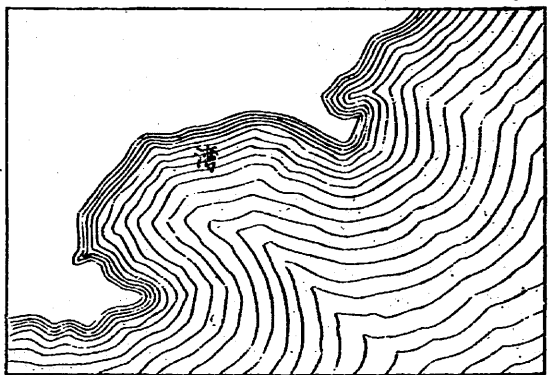


海トハ、兩陸ノ間ニ、介マリタル、所ヲ云ス、即大洋ノ分レタルナリ、

港圖

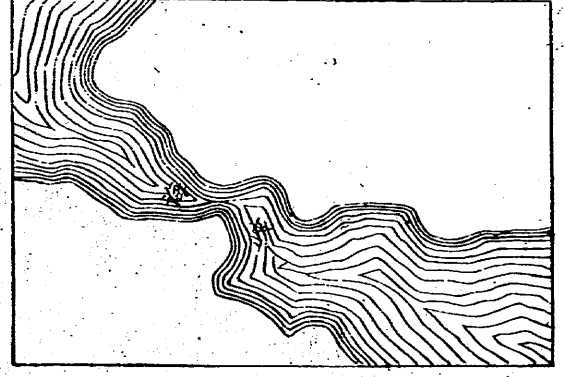


灣圖

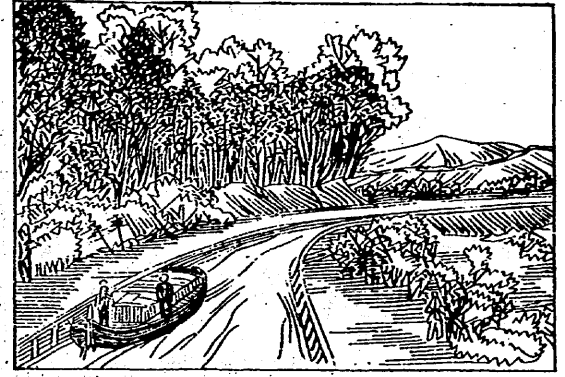


海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處ヲ、港ト云フ、

海峽圖



溝圖



水ノ陸地ニ曲リ入レル處又灣ト云フ、

陸地ノ間ニアリテ海水互ニ相通スル狭キ所又

海峽ト云フ、

溝ハ人エヲ以テ鑿テ

通シタル者ニレテ物

又運漕スルニ用井ル

水流ナリ、

四面全ク陸地ヲ以テ

圍ミタル處ヲ湖ト云

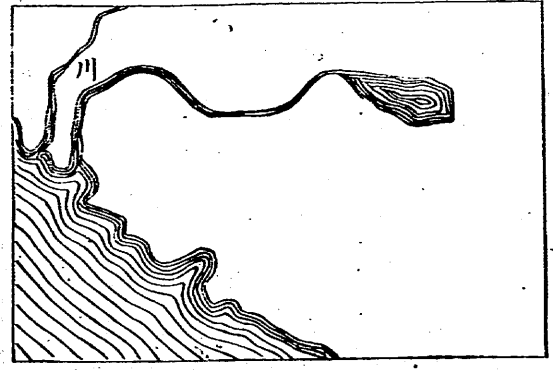
ス、其中或ハ一方河海

湖圖



二通スルモノアリ  
川ハ陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云ス

川 圖



瀑 圖



川水ノ始メテ流レ出ヅル所ヲ源ト云フ、  
其流小ナルモノヲ小川ト云フ、マタ深廣ニシテ  
大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云フ、  
水ノ山上或ハ高キ所ヨリ急ニ低キ地ニ落チ下  
タルモノヲ瀑ト云フ

地理初歩終

地理初歩

七

下

三重縣

書籍

三重縣下學校用書籍所

明治十二年五月四日翻刻御届  
同 年六月廿三日 刻成

定價三錢

三重縣平民

翻刻人

篠田伊十郎

伊勢國安濃郡津宿屋町  
拾七番地居住

